

平成18年10月期 航空特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法 規

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

〔1〕 次の記述は、電波法に規定する「無線局」の定義である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局とは、無線設備及び□の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。」

1. 無線局を運用する者
2. 無線設備の操作を行う者
3. 無線通信を行う者
4. 無線設備の所有者

〔2〕 次の記述は、ATCトランスポンダが、その航空機の航行中における通常の状態において合致しなければならない条件に関する無線設備規則の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「□からの質問信号を受信することによって、応答信号を自動的(特別位置識別パルスにあっては、手動により発射が開始されるものとする。)に送信することとなるものであること。」

1. SSR
2. ILS
3. タカン
4. VOR

〔3〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどうしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 携帯する。
2. 無線局に備え付ける。
3. 通信室内に保管する。
4. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。

〔4〕 総務大臣は、電波法の施行を確保するため特に必要がある場合において、無線局に電波の発射を命じて行う検査では、何を検査するか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 送信装置の電源の変動率
2. 電波の変調度
3. 無線従事者の無線設備の操作の技能
4. 発射する電波の質又は空中線電力

〔5〕 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人又は登録人(以下「免許人等」という。)がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. その無線局の免許人等にその旨を通知する。
2. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
3. その無線局の電波の発射を停止させる。
4. その免許人等を告発する。

〔6〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちに届け出る。
2. その旨を報告する。
3. 免許状の訂正を受ける。
4. 再免許を申請する。

法

〔7〕 無線局を運用する場合において、識別信号（呼出符号、呼出名称等をいう。）は、遭難通信を行う場合を除き、次のどの書類に記載されたところによらなければならないか。

1. 無線局事項書
2. 免許証
3. 免許状又は登録状
4. 無線局免許申請書

〔8〕 無線局が自局に対する呼出しであることが確実でない呼出しを受信したときは、次のどれによらなければならないか。

1. その呼出しが反復され、他のいずれの無線局も応答しないときは直ちに応答する。
2. その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答しない。
3. その呼出しが数回反復されるまで応答しない。
4. 直ちに応答し、自局に対する呼出しであることを確かめる。

〔9〕 無線電話通信において、「終わり」の略語を使用する場合は、次のどれか。

1. 通報のないことを通知しようとするとき。
2. 周波数の変更を完了したとき。
3. 通報の送信が終わるとき。
4. 通信を終了するとき。

規

〔10〕 無線局が相手局を呼び出そうとする場合（遭難通信等を行う場合を除く。）において、他の通信に混信を与えるおそれがあるときは、次のどれによらなければならないか。

1. 5分間以上待つて呼出しを行う。
2. 現に通信を行っている他の無線局にその通信の終了時刻を確かめ、終了を待つて呼出しを行う。
3. 自局の行おうとする通信が急を要する内容のものであれば、直ちに呼出しを行う。
4. その通信が終了した後に呼出しを行う。

〔11〕 ノータムに関する通信の優先順位はどのように定められているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 緊急の度に応じ、緊急通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
2. 緊急の度に応じ、遭難通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
3. 緊急の度に応じ、無線方向探知に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
4. 航空機の安全運航に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。

〔12〕 航空機の遭難に係る遭難通報に対し応答した航空機局のとるべき措置は、次のどれか。

1. 付近を航行中の航空機に遭難の状況を通知しなければならない。
2. 救助上適当と認められる無線局に対し、当該遭難通報の送信を要求する。
3. 直ちに遭難に係る航空機を運行する者に遭難の状況を通知する。
4. 直ちに当該遭難通報を航空交通管制の機関に通報する。